

臨床検査科

臨床検査ってなんだろう？

➡ 病気の診断・治療・検診のための検査です

検体検査
患者さんから採取された検査材料で行う検査です



↓

血液、尿、便、痰など

生理機能検査
患者さんに直接、接する検査です

- 心電図検査
- 脳波検査
- 超音波検査
- 呼吸機能検査
- など

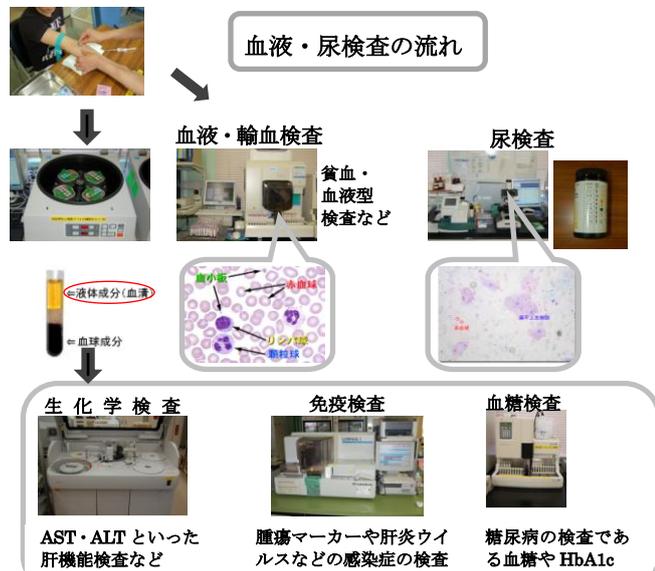


私たちは、お預かりした検査材料を分析することにより、患者さんの病気の原因をみつけ、治療の手助けとなるデータの提供を行っています

私たちの仕事風景

検体検査 患者さんから採取された血液・尿の分析をしています

血液・尿検査の流れ



血液・輸血検査 貧血・血液型検査など

尿検査

生化学検査 AST・ALT といった肝機能検査など

免疫検査 腫瘍マーカーや肝炎ウイルスなどの感染症の検査

血糖検査 糖尿病の検査である血糖やHbA1c

細菌検査 病気の原因となる病原体をみつめます

検査材料から感染症の原因となっている細菌を見つけ、その細菌に有効な薬剤を調べています

結核菌は安全な環境の中で扱っています

細菌はこのような増えます



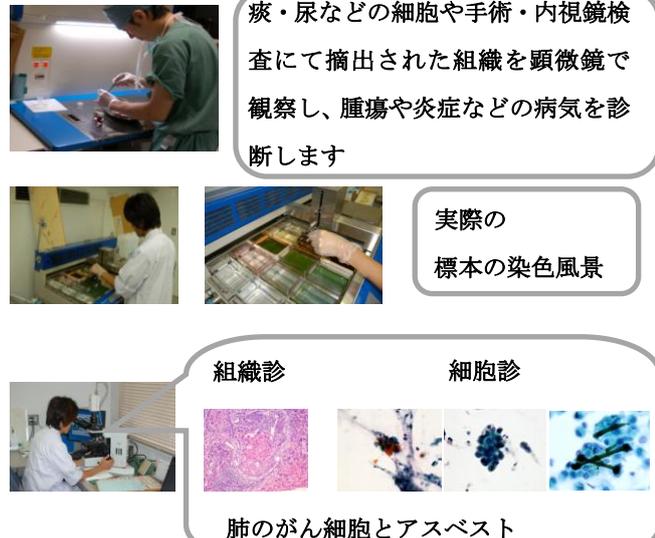
病理検査 細胞や組織の形態学的観察をしています

痰・尿などの細胞や手術・内視鏡検査にて摘出された組織を顕微鏡で観察し、腫瘍や炎症などの病気を診断します

実際の標本の染色風景

組織診 **細胞診**

肺のがん細胞とアスベスト



生理機能検査 患者さんとのコミュニケーションが大切です

心電図検査 何がわかるの？
心臓全体の動きを調べることができ、心臓病の発見や診断、病状の把握、治療効果の確認、薬の副作用の発見などに欠かせない検査です

正常心電図

脳波検査 何がわかるの？
頭に21個の電極を装着し脳から生じる電気活動を記録します。てんかん、意識障害、睡眠障害、精神疾患などの診断の補助・状態把握などに欠かせない検査です

安政閉眼時正常脳波

超音波検査 **呼吸機能検査** **神経伝導検査**

